

2026 年度 看護職員の負担軽減及び処遇改善の取り組み

当院では看護職員の負担軽減及び処遇改善のため、下記の項目について取り組みを行っております。

■看護部■

看護助手、クレーク（病棟・外来）との業務連携、協働を図る

看護師の業務負担軽減となる業務内容を精査し、改善案を各委員会等に提起、協議し実施につなげる

多様な勤務形態を採用し、個々のライフスタイルに合わせた働き方を支援する

■事務部■

退職等に伴う看護職員の業務負担増を抑えるため、欠員の補充を迅速に行う申請に基づき備品補充や医療材料、機器の用度を迅速に行う

事務的作業全般を補佐し、看護職員の業務負担軽減を図る

患者サービス、満足度に直結する療養環境について整備、営繕を迅速に行う

■リハビリテーション部■

病棟回診に同行しリハビリテーションに関わる患者情報、進捗について共有する
入院リハビリテーション患者の病床からリハビリテーション室への送迎を担う

■地域連携部■

関連機関と連携し、迅速かつ円滑な診療、転院相談、照会等の対応を行う
社会福祉士が主導する退院支援、退院調整の充実を図る

■薬剤科■

病棟回診に同行し、患者の服薬情報等を共有、定期、臨時処方に対応する
看護師と協働する薬局業務が安全に遂行できるように業務の効率化を図る

■栄養科■

病棟回診に同行し、患者に応じた食事内容や食事形態の検討、また、サービス等の情報を共有する

■放射線科■

放射線撮影を行う患者情報を共有し、迅速な誘導かつ安全な撮影を行う
手術室内での放射線業務に介入する